

主催

大仙市チャレンジデー実行委員会 (委員長 栗林次美)
大仙市教育委員会 生涯学習部 スポーツ振興課
〒014-0062 秋田県大仙市大曲上栄町2番16号
TEL: 0187-63-1111 FAX: 0187-63-7131

結果

人口: 86,546人
参加者数: 44,767人
参加率: 51.7%
取得メダル: 金

秋田県大仙市 ○
VS
神奈川県座間市 ●

プログラム (太字: 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①大仙ショッピングウォーク (大型ショッピングモール・スーパーマーケット) 850人
・事業に協賛する市内の大型ショッピングモールやスーパーマーケットの店舗において、来店者が買い物をしながら15分間以上のウォーキングを楽しみ、店舗設置の報告用紙に必要事項を記載のうえ集計BOXに投函することで参加率らびに報告率の向上を目指しています。
- ②春の親水公園清掃と春の味 (イワナの塩焼き) を楽しむ会 (大曲地域角間川地区 (川港親水公園)) 253人
- ③フェアウェイウォーキング (大仙市民ゴルフ場) 80人
- ④早朝温泉付クリーンアップウォーキング (仙北温泉史跡の里交流プラザ「柵の湯」) 42人
- ⑤大曲スポーツクラブ「フェアウェイでグラウンド・ゴルフ大会!」 (大仙市民ゴルフ場) 16人

協力・連携

体育協会/スポーツ推進委員/スポーツ少年団/競技団体/総合型地域スポーツクラブ/民間フィットネスクラブ/幼稚園・保育園/小学校/中学校/高等学校/事業所・企業/商工会・青年会議所/自治会・町内会/高齢者団体/病院・診療所/高齢者施設/障害者施設/建設業協会/雇用能力開発協会/企業連絡協議会/農業法人/集落営農組織/農地水環境保全組織

メディア

秋田県南日々新聞 (WEB 新聞)

広報・周知

2015年は、「報告しよう、あなたの大切な15分間」をメインテーマとしてチャレンジデー事業のPR活動を行いました。

過去2回の挑戦では、市民に15分間以上の運動をすることが参加条件であることを、市の広報やチラシ等で周知することによって、参加率の向上を目指すべくPR活動に力を入れておりましたが、事業終了後に「運動はしたが報告まではしていない」という市民からの声に関係者に数多く寄せられました。

今回は、その教訓を活かすべく「報告率のアップが勝利への鍵」であると捉え、「運動後は忘れずに報告をしましたか?」と報告率

の向上を目指す形でのPR活動に力を入れて取り組みました。

製作物

チラシ49,600枚/スタッフTシャツ174枚/ポケットティッシュ2,000個/のぼり200本/施設掲示用大型看板4枚/ポスター貼り付け用告知シール300枚/車上看板1枚

実施効果

今年は、友好交流都市でもある神奈川県座間市との対戦になりました。過去2回の挑戦では、普段交流が無い都市が対戦自治体ということもあり、市民から見ると漠然とした状況下でのチャレンジデー参加となっていたものと考えられます。

今回は、普段から交流のある座間市が対戦相手ということで、多くの市民が良い緊張感を持ってしっかりとチャレンジデーに参加することができたようです。

このチャレンジデーをきっかけにスポーツの対戦による交流が活発となり、両市の結束が更に強くなることを期待しています。

担当者から

「目指そう50%、越えよう50%」これは、2013年に大仙市として最初のチャレンジデーを実施した時から、大仙市チャレンジデー実行委員会と多くの市民との共通認識として目標にしてきたものです。

参加率50%は、市民の2人に1人が参加したことになる「大きな壁」ですが、今後も市民はじめ、関係者からのアドバイスやアイデアを柔軟に取り入れつつ乗り越えたいと考えています。

そのためにも、チャレンジデー実行委員会としての「実力」を磨くとともに、市民の誰もが、チャレンジデーに参加しやすい「方法」を探り、着実に前に進みたいと考えています。その結果、対戦自治体に勝つことができれば、最高の笑顔になれると確信しています。



買い物で参加! 大仙ショッピングウォーク

主 催

にかほ市チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 和田紀夫)
 にかほ市教育委員会 スポーツ振興課
 〒018-0104 秋田県にかほ市象潟町字狐森7番地
 TEL: 0184-33-8855 FAX: 0184-33-8856

結 果

人 口: 26,405 人	秋田県にかほ市 ●
参加者数: 10,822 人	VS
参加率: 41.0%	広島県竹原市 ○
取得メダル: 銀	

プログラム (太字: 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①メインイベント (象潟体育館) 80 人
 - ・スポーツ推進委員が主体となって、体力測定会、ニュースポーツ、じゃんけんゲームなどを行い、参加者の性別年代を問わない内容となっています。また、サッカー J3 のブラウブリッツ秋田の選手も参加することで、スポーツ交流イベントも兼ねています。
 - ②白寿大学軽運動 (象潟公民館) 78 人
 - ③ふれあい健康教室 (象潟体育館) 55 人
- 【アスリート・著名人など】**
 ブラウブリッツ秋田 (サッカー J3 所属)

協力・連携

体育協会／スポーツ推進委員／スポーツ少年団／競技団体／総合型地域スポーツクラブ／民間フィットネスクラブ／幼稚園・保育園／小学校／中学校／高等学校／事業所・企業／商工会・青年会議所／自治会・町内会／高齢者団体／婦人会／障害者団体／社会福祉協議会／病院・診療所／高齢者施設／障害者施設／舞踊・ダンスの芸能文化団体

メディア

秋田魁新報

広報・周知

市広報にマンガ風のチラシを作成し折りこみ配布をしました。
 市で facebook と Twitter の利用を始めたので、これに書き込み広報をしました。

製作物

チラシ 20,000 枚／スタッフ T シャツ 32 枚／のぼり 20 本

実施効果

市民のチャレンジデーに対する認知度は、参加協力団体・企業等が毎年増えていることから、上がってきていると感じています。それに伴い、市民が運動をする意識も高まっていると感じています。
 メインイベントでは、市民と J3 所属ブラウブリッツ秋田の選手たちとで、スポーツを通じた交流が行われました。

対戦相手の広島県竹原市とのエール交換や広報により、市民の竹原市への周知が図られました。

担当者から

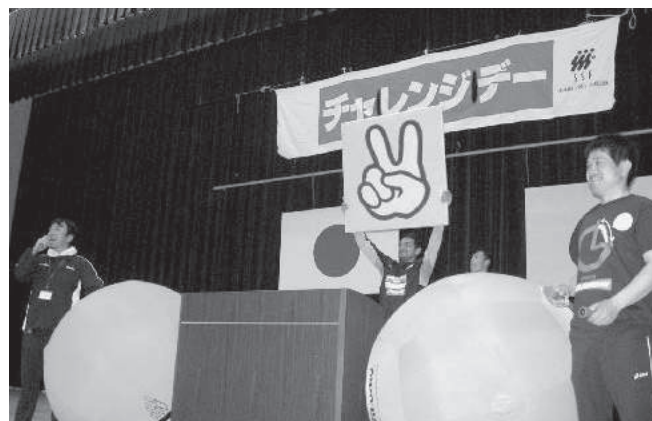
チャレンジデーに参加協力していただける団体・企業の方々と
 の交流が、毎年増えてきていると感じています。
 また、市民の 15 分間の運動習慣も広まってきていると実感しています。中には、チャレンジデーは年 1 回のイベントですが、市独自に月 1 回のチャレンジデーを企画することも良いとの意見も寄せられるほどで、嬉しく感じています。
 その一方、チャレンジデーの広報・周知は、市民全体に馴染むまでには、まだまだ足りないとも感じており、これからの頑張り次第で伸びしろは有ると実感しています。今後も、市民の協力を得て、運動習慣の普及を図りたいと考えています。



長崎宏子さんと体操教室



J3 ブラウブリッツ秋田との交流



スポーツじゃんけんゲーム

主催

能代市チャレンジデー実行委員会（実行委員長 齊藤滋宣）
能代市教育委員会 生涯学習・スポーツ振興課
〒018-3192 秋田県能代市二ツ井町上台 1-1
能代市二ツ井町庁舎
TEL：0185-73-3221 FAX：0185-73-6459

結果

人口：56,966人	秋田県能代市	○
参加者数：24,525人	VS	
参加率：43.1%	大分県宇佐市	●
取得メダル：銀		

プログラム（太字：特に力を入れているプログラムと内容）

- ①バスケチャレンジ in 能代（能代市総合体育館）122人
 - ・全国制覇58回を数える能代工業高校バスケットボール部がある能代市では、バスケットボールが市民の間でとても親しまれています。チャレンジデーの市民参加型イベントの一つとして企画された「バスケチャレンジ in 能代」には、老若男女のバスケファンが多数集まり、心地良い汗を流しました。チャレンジデー大使でオリンピック金メダリストの小野喬さんから激励のご挨拶をいただき、早速ストレッチを十分に行った後、2つのグループ〔ハイパーコート（上級、中級）、レギュラーコート（初級）〕に分かれ、5分ゲームを連続して行いました。日頃から身体を動かしているとはいえ、いつもと違うメンバーを相手に、和気あいあいとレクリエーションゲームが繰り広げられました。
- ②ごみゼロウォーキング（能代市畠町大通り）115人
- ③のしろチャレンジデー 2015 総合開会式（能代市総合体育館）101人
- ④ソフトテニス体験交流会（能代山本スポーツリゾートセンター アリナス）70人
- ⑤輪になって踊ろう お杉音頭（旧料亭「金勇」）68人

協力・連携

体育協会／スポーツ推進委員／スポーツ少年団／競技団体／総合型地域スポーツクラブ／幼稚園・保育園／小学校／中学校／高等学校／大学・専門学校／事業所・企業／商工会・青年会議所／自治会・町内会／高齢者団体／婦人会／社会福祉協議会／病院・診療所／高齢者施設／市議会／警察署／消防署／医師会／健康推進委員協議会

メディア

北羽新報

広報・周知

過去2回の挑戦では、イベント周知の面で遅れをとっていた感があります。大きな参加母体の一つである自治会・町内会の参加

を得るには、行事計画の中に「チャレンジデーへの参加」を事業として組み入れて頂く必要があります。年度末あるいは年度初めに開催される総会前に参加依頼を行うことが不可欠です。今回は3月中旬には全ての自治会等へチャレンジデーへの参加案内を送付することができました。それが参加者数の増加に繋がったものと思います。また、市民参加型イベント数を増やすとともに、全てのイベントを「健康チャレンジポイント」の対象とし、健康を意識しながら身体を動かすことの大切さをアピールすることができました。

チャレンジデーは、年に一度だけ身体を動かせばよいということではなく、これをきっかけに「身体を動かして健康になろうよ！元気になるよ！」と互いに声を掛け合い、年に一度から、月に一度、週に一度、そして日常的に身体を動かすことに繋がることを期待しております。

製作物

チラシ 33,000枚／スタッフTシャツ 56枚／ポケットティッシュ 2,000個／のぼり 50本／市民参加型イベント横看板（手作り）15枚

実施効果

チャレンジデーに挑戦して3年目ですが、着実に地域コミュニティの活性化を実感しています。チャレンジデーに町内会全体で参加するための回覧板によるイベントの周知や、隣近所への声掛けなど、少子高齢化により一人世帯が増えている中でチャレンジデーへの参加は、身体を動かすことの健康づくりと近隣住民同士の交流に繋がるなど、心の健康にも大きな効果があります。小さな町内会では近隣の町内会と一緒に体操したり、普段あまり挨拶を交わさない人達が、このイベントを機に親しくなったりなど、チャレンジデーの効果は非常に大きいと思われます。

実行委員会の中で、「おじいちゃん、おばあちゃんをチャレンジデーに参加させる一番良い方法は、孫が「一緒に体操しよう」と声掛けすることだ」との意見がありました。早速、市内の小学校を通じてお願いしましたが、チャレンジデーは家族の会話をはじめ、地域のコミュニティも醸成することを強く感じております。

担当者から

身体を動かすことが健康に良いことは誰もが知っていますが、日々の忙しさの中、なかなか実践できないものです。チャレンジデーへの参加を呼びかけるため、毎月開催されている「ラジオ体操会」というイベントに参加した際、インストラクターの指導により、手の指先から足の先まで意識して行い、ラジオ体操の素晴らしさを改めて実感しました。参加者の多くが口を揃えて「いつものラジオ体操とこんなにも違うのか、癖になりそう！」と身体を動かすことの大切さ、有意義さを改めて実感しました。

参加率は、目標としていた50%には届きませんでしたが、3回目にしての初勝利に、実行委員長をはじめ、たくさんの市民の皆様から喜びの声を掛けていただきました。

来年は更なる参加率の向上を目指してがんばりたいと思います。

チャレンジデー 3回目の挑戦、勝利を

能代市「5月27日」市民へ周知
実行委



初勝利を目指し今年の取り組みなどを協議した能代市チャレンジデー実行委

能代市チャレンジデー実行委員会（委員長・斎藤市長、副委員長・斎藤市長）は26日、市公共広場で開催された市民へ周知のチャレンジデー実行委の第3回定例会を開催した。市公共広場の市民会館で、市公共広場の職員らと、市民代表らによる協議が行われた。今年度の取り組みについて、市民代表らから意見が述べられ、実行委の取り組みについて、市公共広場の職員らから説明が行われた。また、市民代表らから、チャレンジデーの取り組みについて、市民へ周知するための取り組みについて、市公共広場の職員らから説明が行われた。

チャレンジデーは、毎年4月26日（土）に開催される。今年度は、5月27日（土）に開催される。チャレンジデーは、市民へ周知するための取り組みとして、市民代表らによる協議が行われた。また、市民代表らから、チャレンジデーの取り組みについて、市民へ周知するための取り組みについて、市公共広場の職員らから説明が行われた。

2015年2月28日 土曜日 北羽新報

能代市は宇佐市と 5回目チャレンジデー対戦相手

山本郡3町もカード決定
チャレンジデーは、毎年5月27日（土）に開催される。今年度は、5月27日（土）に開催される。チャレンジデーは、市民へ周知するための取り組みとして、市民代表らによる協議が行われた。また、市民代表らから、チャレンジデーの取り組みについて、市民へ周知するための取り組みについて、市公共広場の職員らから説明が行われた。

2015年3月7日 土曜日 北羽新報

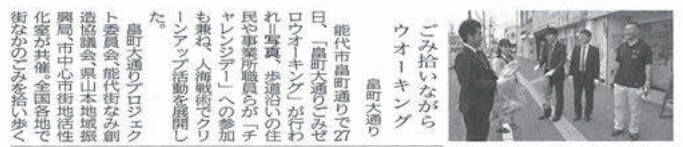
運動に無縁もこの日は



新緑の「きみまち歩き」を楽しむ参加者（能代市二ツ井町で）

チャレンジデー 能代山本4景
スポーツに無縁な市民の健康づくりを目的に開催されたチャレンジデー。今年度は、5月27日（土）に開催される。チャレンジデーは、市民へ周知するための取り組みとして、市民代表らによる協議が行われた。また、市民代表らから、チャレンジデーの取り組みについて、市民へ周知するための取り組みについて、市公共広場の職員らから説明が行われた。

2015年5月28日 木曜日 北羽新報



「みせの日は3月30日に合わせたい」と、大伴敬一市長が22日に始まる25年からはチャレンジデー5月27日（土）に開催される。チャレンジデーは、市民へ周知するための取り組みとして、市民代表らによる協議が行われた。また、市民代表らから、チャレンジデーの取り組みについて、市民へ周知するための取り組みについて、市公共広場の職員らから説明が行われた。

2015年5月28日 木曜日 北羽新報



輪になって踊ろう！お杉音頭



総合開会式（みんなでラジオ体操：指先までピン！）

主 催

2015 チャレンジデー八郎潟町実行委員会

(実行委員会会長 畠山菊夫)

教育委員会教育課

〒 018-1692 秋田県南秋田郡八郎潟町字大道 80 番地

八郎潟町役場

TEL : 018-875-5812 FAX : 018-875-5950

結 果

人 口 : 6,324 人

参加者数 : 3,970 人

参加率 : 62.8%

取得メダル : 金

秋田県八郎潟町 ●

VS

鹿児島県和泊町 ○

プログラム (太字 : 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①買い物&輪投げ大会 (おおみちガレージ) 85 人
- ②グラウンド・ゴルフ交流 (八郎潟町中羽立公園芝生広場) 57 人
 - ・会員や初心者を対象としたグラウンド・ゴルフ交流会です。
 - ・町民相互の親睦を図るとともに、町民の健康の維持増進を図ることを目的としています。
- ③浦城トレッキング (高岳山) 39 人
- ④ママのためのリフレッシュヨガ (えきまえ交流館「はちパル」) 28 人
- ⑤にゃんぱち子育てらんど (えきまえ交流館「はちパル」) 25 人

協力・連携

体育協会/スポーツ推進委員/スポーツ少年団/レクリエーション協会/総合型地域スポーツクラブ/幼稚園・保育園/小学校/中学校/事業所・企業/自治会・町内会/高齢者団体/婦人会/社会福祉協議会/高齢者施設/障害者施設

メディア

秋田魁新報

広報・周知

5月連休明けから各町内会長にお願いし、各戸を回りチャレンジデー参加を呼び掛けていただいたことにより大幅な参加率アップにつながりました。また、近所の身近な方々が家を直接訪問し説明や参加の呼びかけをしたことで、町民の参加意識が向上したと思います。

製作物

ポケットティッシュ 5,000 個/のぼり 30 本/タオル 3,000 枚/町広報掲載 2,527 部

実施効果

今回のチャレンジデーでは、町内会長が先頭となり各戸を回り、地域住民へ参加の周知等を行ったことにより昨年を大幅に上回る参加率を得られたと思います。

また、町内会独自のイベント等も開催され、地域に根差したイベントになりつつあることを感じています。

チャレンジデーを契機として住民が様々なイベントやスポーツに触れることで仲間づくりや交流を深め、継続して体を動かし健康増進につなげていくことができたらと思っています。



職場ラジオ体操



にゃんぱち子育てらんど



グラウンド・ゴルフ交流

住民総参加型のスポーツイベント チャレンジデー 2015

参加率	潟上市	70.2%
	井川町	82.0%
	五城目町	56.3%
	八郎潟町	62.8%
	大潟村	43.5%

それぞれ
頑張る!!

公益財団法人 滝川スポーツで、一斉に実施されている住は今年、秋田県、大潟村が1つ財団主催による「チャレンジデー」2015が、人口規模のほぼ同じあがっての参加となった。五月二十七日、全国一三〇自治体同士が午前0時から午後九時までの間に十五分、午後は参加の自治体で練習、自主参加のものと実施され、以上継続して何らかの運動、自主参加のものと実施され、心と体の健康づくりに努めた。



◆県立五城目高校では六校時、全校生徒参加のもと、体育館において五高口ブジャンX(長縄とび大会)が開催された。呼吸合わせて元気にジャンプ!! だまこマンが応援にかけた。尚、三年C組が優勝した。



◆八郎潟町では、八郎潟町えきまえ交流館「はちハル」交流ホールにおいて「健診直前!運動講座」脂防燃焼「ステップ台エクスサイズ」が開催された。健康運動指導士星良子氏が指導、子どもから大人まで町民約三十人が参加した。

2015年6月4日 木曜日 湖畔時報

チャレンジデーについて

5月の最終水曜日となる27日に開催されたチャレンジデーについて、今年も秋田県全ての市町村が参加して実施されました。2回目の参加となった本町の結果は、参加者3,970名、参加率62.8%で、今年の対戦相手の鹿角市と泊町は、参加者4,600名、参加率66.3%でありました。残念ながら、今年も勝負には負けてしまいました。町内会をはじめ、体育協会などの各種団体、企業・事業所などから協力をお願いいただき、昨年より参加者で1,969名、参加率が31.7%の大幅アップとなりました。平日にもかかわらず多くの皆様から参加していただき、感謝申し上げます。

2015年7月号 広報八郎潟

イベントプログラム

☆誰でも自由に参加できます。仲間づくりを促していただく。☆各イベントに必要な服装、体育館シューズなどはご準備ください。☆町内であれば、いつでも参加体験できます。また、予約でも参加できますが、1人1ポイントです。☆心ばかりの参加賞をご用意しています。☆参加費につきましては、参加者1人1ポイントです。

No.	イベント	おしらせ	時間	会場
1	グラウンドゴルフ交流	一人でもチームでもできます。人気のスポーツ	9:15~15:00	中野立公園広場
2	ゲートボール交流	屋根付きのコートで雨降り関係なし!	9:00~12:00	スパーク八郎潟
3	浦城跡トレッキング	チャレンジデー協賛イベント	9:00~16:00	浦城跡
4	高岳山ハイキング	チャレンジデー協賛イベント	9:00~16:00	高岳山
5	輪投げ交流大会	チャレンジデー協賛イベント	9:00~12:00	おおみちガレージ、手づくり工房おおみち
6	ミニテニス体験	ソフトボール大の軽いボールでテニスを楽しむ	10:00~12:00	町民体育館
7	ノーカー運動デー	徒歩や自転車での運動や通学を奨励	6:00~18:00	町内全域
8	船トして健康づくり	オリンピック記念館は終日開放!	9:00~21:00	オリンピック記念館
9	ラージボール卓球体験	ちょっと大きめの卓球ボールで軽い汗をかこう	18:00~20:00	オリンピック記念館

●チャレンジデー参加登録用紙の回収箱設置場所

No.	場所・建物等	No.	場所・建物等
1	1. 2. 3区児童館	21	真坂コミュニティ施設
2	寿山荘	22	消防団第4分団事務所(真坂在所となり)
3	伊藤スポーツ広場	23	真坂集落センター前
4	防災センター前	24	三倉児童館前
5	小樽菓子店前	25	高岡コミュニティセンター前
6	31・32区児童館広場	26	浦大町コミュニティセンター前
7	9・10区児童館広場		
8	青年婦人会館前		
9	浄水場前		
10	壁根下児童館前		
11	なかよし会館前		
12	川崎地区多目的施設		
13	30区公民館前		
14	小池児童館前		
15	町民体育館前		
16	オリンピック記念館前		
17	役場前		
18	夜叉袋中央公民館前		
19	夜叉袋児童館前		
20	夜叉袋神社前		

浦城跡・高岳山へ町の福祉バスを運行

役場前 午後1:00出発

☆利用料金は、もちろん無料です。
☆トレッキング、ハイキングともに、頂上で地元ボランティアの方が午前9時から午後4時まで、おちておしします。
☆お乗りバスが、役場まで普通運行します。午後4時出発予定。

●チャレンジデーとは

毎年5月の最終水曜日に全国で一斉に開催されています。八郎潟は初めて参加します。
午前0時から午後9時までの間に総じて15分以上運動やスポーツ等を行ったみなさんの参加率(%)を競うものです。
八郎潟町が主催は翌日から1週間、北海道新報社の専売のメインポータルに八郎潟町の町旗が掲揚されます。負ければ、新報社の町旗を掲揚するというルールです。



1日15分以上の運動とスポーツで健康づくり

5月28日(水) 午前0時~午後9時

Let's Try 15min CHALLENGEDAY

誰でも15分以上の運動で、チャレンジデーに参加できます。ぜひ参加登録をお願いします。

- 参加の方法
- 1参加登録する
 - 2チャレンジデーイベントに参加する

- 下記の参加登録用紙を運動後に回収箱へ投かんしてください。※回収箱の設置場所は、裏面をご覧ください。
- 電話やFAX、E-Mailでも申し込みができます。※E-Mailでの申込みは、下記の参加登録用紙の記載事項をご入力ください。

チャレンジデー実行委員会 兼計センター
電話 875-5812 FAX 875-5950 E-Mail challenge@town.hachirogata.lg.jp

チャレンジデー

チャレンジデー PR 用チラシ (表面)

チャレンジデー PR 用チラシ (裏面)

主催

八峰町チャレンジデー実行委員会 (委員長 加藤和夫)
教育委員会生涯学習課生涯学習係

〒018-2641 秋田県山本郡八峰町八森中浜 196-1
ファガス

TEL : 0185-77-3700 FAX : 0185-74-5290

結果

人口 : 7,878 人	秋田県八峰町	○
参加者数 : 5,188 人	VS	
参加率 : 65.9%	北海道鷹栖町	●
取得メダル : 金		

プログラム (太字 : 特に力を入れているプログラムと内容)

- ① ナイタースポーツチャレンジ (町内体育館 4 施設) 59 人
 - ・ 町内中学校体育館、土床体育館を利用し、バスケットボール、卓球、ソフトバレー、ソフトテニス、野球を行いました。町体育協会加盟の各協会が主体となり、初心者向けのプログラムの実施や協会員によるアドバイスを行うなど、子どもから大人まで気軽に参加でき、楽しく交流しました。
- ② 親子で楽しく軽運動 (ポンポコ山公園) 30 人
- ③ ナイトジョギング、ウォーキング (中央公園) 29 人
- ④ let's グラウンド・ゴルフ (ポンポコ山公園) 24 人
- ⑤ 「ハタハタ音頭」「しらかみばやし」踊り講習会 (あきた白神体験センター) 17 人

協力・連携

体育協会 / スポーツ推進委員 / スポーツ少年団 / 総合型地域スポーツクラブ / 幼稚園・保育園 / 小学校 / 中学校 / 事業所・企業 / 商工会・青年会議所 / 自治会・町内会 / 高齢者団体 / 婦人会 / 社会福祉協議会 / 病院・診療所 / 高齢者施設

メディア

北羽新報

広報・周知

町民向けの広報として開催日までの 10 日間、防災無線での放送を行ったほか、チラシの全戸配布を 2 回行いました。行政施設や観光施設では T シャツの着用による PR を行い、小学校 3 校では運動会の際、教職員や PTA が T シャツを着用して参加を呼びかけました。

製作物

チラシ 6,800 枚 / スタッフ T シャツ 240 枚 / ポケットティッシュ 4,000 個 / のぼり 40 本 / タオル 400 枚

実施効果

今年は「自治会チャレンジデー」と題し、自治会ごとに参加率を競うプログラムも行いました。各自治会独自のプログラムを

行ったり、戸別訪問をして参加報告の取りまとめをするなど、参加率向上の一因となったのはもちろんですが、地域住民の交流の機会となったことが非常に喜ばしいことでした。また、防災無線でラジオ体操を放送したことで、地域住民が集まる機会ができた。家庭や事業所内でも運動に取り組むきっかけづくりができたように思います。

担当者から

当町は 2 回目の挑戦でした。当日まで非常に忙しかったものの、昨年及ばなかった金メダル獲得を目標に掲げ、目標が達成された瞬間に大喜びしたことが思い出されます。参加率の向上も大切ですが、町民が日頃から運動できる機会を提供すること、自ら運動を続けていくこと、健康づくり・地域づくり・仲間づくりのために、来年へ向けてこのチャレンジデーを有効に活用したいと思います。



地域住民が集まりウォーキング



みんなで楽しく踊りました

主 催

東成瀬村チャレンジデー実行委員会 (会長 佐々木哲男)
東成瀬村教育委員会
〒019-0801 秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字仙人下 30-1
TEL: 0182-47-3415 FAX: 0182-47-2119

結 果

人 口: 2,698 人
参加者数: 2,567 人
参加率: 95.1%
取得メダル: 金

秋田県東成瀬村 ○
VS
沖縄県東村 ●

プログラム (太字: 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①早朝ゴミ拾いウォーキング、ラジオ体操、花植え活動 (全村避難訓練を合わせて実施) (村内各地区) 1,462 人
・村内各地区でウォーキングや花壇整備活動が行われる早朝に合わせて避難訓練を実施しております。避難訓練終了後にはラジオ体操を放送し、各避難場所で実施しています。
- ②チャレンジデー記念イベント「みんなでストレッチ」(東成瀬村多目的グラウンド) 259 人
- ③親子 DE 体操 (なるせ保育園・児童館) 150 人
- ④ロープ・ジャンプ・EX (観覧者含む) (東成瀬村民体育館) 139 人
- ⑤東成瀬中学校体育祭 (東成瀬村多目的グラウンド) 100 人

協力・連携

体育協会/スポーツ推進委員/競技団体/レクリエーション協会
/総合型地域スポーツクラブ/幼稚園・保育園/小学校/中学校
/事業所・企業/商工会・青年会議所/自治会・町内会/高齢者
団体/婦人会/社会福祉協議会/高齢者施設

広報・周知

チャレンジデーの2ヵ月前から、村広報紙上において参加の呼びかけの記事を掲載したほか、1ヵ月前には立て看板の設置及び村内各所へのぼりを設置し、イベントの周知に努めました。

製作物

チラシ 1,000 枚/スタッフTシャツ 125 枚/ポケットティッシュ 2,000 個/のぼり 20 本/立て看板 1 枚

実施効果

チャレンジデーを地区の行事の一つとして位置付け、各地区が自主的にイベントやプログラムを計画し実施することで、地域コミュニティの形成に役立っていると考えます。地区毎の事業には多世代からの参加があり、地域内の世代間交流を深めることができました。

小学校では全国共通イベント「ロープ・ジャンプ・EX」に参加することで、クラスの団結力や向上心を育む良い機会となっています。

また、村外からも多くの方が参加し、交流人口の増加とスポーツ施設の有効活用が図られました。

担当者から

今回で8回目の実施となりますが、年々参加率も上がっており、このイベントが住民に認知され、浸透していると感じます。また、村内の事業所からも積極的な協力があり、地域外からも多くの参加者を得られました。

今後も、多くの住民が参加する、健康づくりや地域づくりにつながるイベントになるよう取り組みたいと考えております。



記念イベント「みんなでストレッチ」



親子 DE 体操



体育館開放・ニュースポーツ教室

2015年5月29日 金曜日
秋田魁新報

チャレンジデー 全市町村参加

本県は20勝5敗

参加率 東成瀬が全国3位

全国の市町村で佳のスポーツ参加率を競った「チャレンジデー2015」(27日実施)の結果がまとまった。本県からは初めて釜川町が参加し、能登自治体との対戦成績は初勝利を挙げた。20勝5敗で、全国で昨年度の対戦成績は初勝利を挙げた。県内トップの参加率は東成瀬町の95.1%で、全国で3番目に高かった。昨年は6勝も伸びた。この八郎潟町で、31.7%増の62.8%だった。

参加率 東成瀬が全国3位
今回は異例の53自治体の参加。初参加の秋田県は県内で最も参加率が高かった。秋田県は、秋田県民の健康づくりを推進する「秋田県民の健康づくり推進計画」に基づき、2014年度から「チャレンジデー」を実施している。今年度は、秋田県民の健康づくりを推進する「秋田県民の健康づくり推進計画」に基づき、2014年度から「チャレンジデー」を実施している。今年度は、秋田県民の健康づくりを推進する「秋田県民の健康づくり推進計画」に基づき、2014年度から「チャレンジデー」を実施している。

自治体	2015年参加率	2014年参加率
秋田市	21.7	不参加
〇鹿角市	69.0	71.7
〇大館市	69.6	69.0
〇北秋田市	58.7	45.7
〇宮城町	43.1	33.8
〇男鹿市	52.5	47.3
〇潟上市	70.2	75.0
〇田代町	81.5	69.4
〇にかほ市	41.0	41.0
〇仙北町	51.7	47.1
〇仙北市	51.1	48.1
〇横手市	86.9	67.0
〇東沢町	51.7	44.3
〇小坂町	62.0	52.3
〇小坂町	64.0	58.4
〇小坂町	64.4	60.7
〇八幡町	65.9	59.8
〇三浦町	45.6	38.1
〇三浦町	56.3	50.2
〇八幡町	82.8	31.1
〇井川町	82.0	71.2
〇衣通町	44.5	34.5
〇美郷町	69.6	60.8
〇羽後町	55.4	48.1
〇東成瀬村	95.1	92.5

※〇は15年1月に開村した自治体

2015年5月号
広報ひがしなるせ

まちづくり スポーツのかた 日本を元気に! チャレンジデー 2015

平成27年5月27日(水) 記念イベント みんなでストレッチ 9:30~10:00(多目的グラウンド)

チャレンジデーは、地域住民の健康づくり・まちづくりを目的とした全国的なスポーツイベントです。村内で15分以上運動して、報告するだけでイベントに参加できます。どんなスポーツ(運動)でもOK! 村外の方も参加できます。

今年の対戦相手は

秋田県
東成瀬村
実施回数8回目
人口2,698人

VS

沖縄県
東村
実施回数10回目
人口1,887人

村民体育館の一般開放を午後6時から午後9時まで行います。高校生の皆さんもぜひご利用下さい。また、午前5時45分、正午、午後6時45分にラジオ体操を放送します。体操をした方は教育委員会までご連絡をお願いいたします。

☎報告 東成瀬村チャレンジデー実行委員会事務局 (教育委員会内)
☎ 0182-47-3415 FAX 0182-47-2119

チャレンジデー2015

5月27日、全国一斉に行われたスポーツイベント「チャレンジデー2015」は、参加率95.1%で初参加から8年連続の金メダルを獲得しました。今回の対戦相手である沖縄県東村の参加率は、参加率65.9%で、自治体の対戦結果としては大差での勝利となりました。当日は早朝の地域活動をはじめ、各団体、個人に積極的に取り組んでいただき、過去最高の参加率であった昨年度の92.5%をさらに2.6%更新することができました。地域づくり団体ごとの参加率も4地区全て65%を超え、金メダルとなりました。多くの村内外の皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。

東成瀬村チャレンジデー賞

●地域づくり団体ごとの参加率

地区名	参加率	メダル
田子内地区	80.0%	金
岩井川地区	76.1%	金
樺川地区	68.4%	金
大柳地区	83.4%	金

●チャレンジデー特別賞【80%以上が受賞】

地区名	参加率	受賞
下田地区	87.2%	特別賞
田子内地区	86.9%	特別賞
蛭川地区	81.3%	特別賞
肴沢地区	88.2%	特別賞
入道地区	83.7%	特別賞
谷地地区	80.5%	特別賞
天江地区	88.5%	特別賞
大柳地区	82.1%	特別賞
草ノ台地区	93.8%	特別賞








2015年6月号
広報ひがしなるせ

主 催

藤里町チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 佐々木文明)
教育委員会生涯学習係

〒 018-3201 秋田県山本郡藤里町藤琴字家の後 67
三世代交流館

TEL : 0185-79-1327 FAX : 0185-79-2227

結 果

人 口 : 3,623 人	秋田県藤里町	○
参加者数 : 3,057 人	VS	
参加率 : 84.4%	宮崎県諸塚村	●
取得メダル : 金		

プログラム (太字 : 特に力を入れているプログラムと内容)

- ① ゴミ拾いウォーキング (藤琴地区商店街) 200 人
 - ・ 藤琴地区商店街にある企業全てが、同じ時間帯にゴミ拾いウォーキングすることによって、周辺地区住民も一緒に参加しやすい雰囲気作りや、チャレンジデーへの参加意欲の向上に成功しました。
- ② チャレンジ！藤里小学校！ (藤里小学校) 150 人
- ③ チャレンジ！藤里中学校！ (藤里中学校) 80 人
- ④ ラジオ体操＆ウォーキング (藤琴地区) 60 人
- ⑤ グラウンド・ゴルフ大会 (大沢地区) 50 人

協力・連携

体育協会／スポーツ推進委員／スポーツ少年団／競技団体／総合型地域スポーツクラブ／幼稚園・保育園／小学校／中学校／事業所・企業／商工会／青年会議所／自治会・町内会／高齢者団体／婦人会／障害者団体／社会福祉協議会／病院・診療所／高齢者施設／障害者施設

メディア

北羽新報／秋田魁新報

広報・周知

- ・ 2 月頃から各種団体の代表者に、チャレンジデー 2015 の実施を伝えていたので、早い段階からチャレンジデーへの団体独自の取り組みを決めることができました。総会前にチャレンジデーへの取り組みをお願いすることで、スムーズに準備することができるので効果的だと思います。
- ・ チラシをカラー印刷で作成したことは、住民への PR に効果がありました。
- ・ 秋田県全市町村がチャレンジデーを実施するというので、県体協やマスコミのバックアップ体制が素晴らしかったです。県全体で同じ取り組みをしたことで、県民に広く周知されたと感じています。

製作物

チラシ 1,500 枚／スタッフ T シャツ 250 枚／オリジナルポスター 100 枚／号外新聞 1,500 部

実施効果

- ・ 同じ目標に向かって様々な団体や企業が参加することで、地域の一体感や人とのつながりが深まりました。
- ・ 参加率 75%以上、金メダル獲得という目標を達成することができ、町民みんなで喜びを分かちあうことができました。
- ・ チャレンジデーを地区行事の実施に利用するなど、活動を前向きに実施する団体が増えました。
- ・ 総合型地域スポーツクラブの存在が周知され、会員が増えました。

担当者から

3 月に対戦相手がチャレンジデー常連の強豪という宮崎県諸塚村に決定したことで、担当者として常にプレッシャーがありました。「目標を達成できれば、勝ち負けは関係ない」とは言いつつも、藤里町民の目から絶対に負けたくないという強い思いを感じていたからです。「担当としてできることを精一杯頑張って、あとは藤里町民の団結力と行動力を信じて全てを賭けよう！」そんな気持ちでチャレンジデーに取り組みました。

今年は、秋田県全市町村がチャレンジデーを実施することもあり、県全体がチャレンジデームード一色！そういった後押しもあつたおかげで、昨年の参加率を上回る 84.4%という高い参加率で、僅差ではありましたが勝利することができました。「今年も頑張ってたね！」町民の方々が笑顔でチャレンジデーの話題で盛り上がっている様子を見て、正直ホッとしているところです。

町民の協力あつての今回の結果、チャレンジデー担当者として感謝の気持ちでいっぱいです。



地元企業と地域住民が一緒にラジオ体操



藤里小学校は全校児童がチャレンジデーに参加

主 催

美郷町チャレンジデー実行委員会 (会長 松田知己)
美郷町教育委員会 生涯学習課 スポーツ振興班
〒019-1234 秋田県仙北郡美郷町飯詰字糠淵 18-1
美郷総合体育館リリオス内
TEL : 0187-84-4916 FAX : 0187-86-8033

結 果

人 口 : 20,909 人	秋田県美郷町	○
参加者数 : 14,343 人	VS	
参加率 : 68.6%	徳島県三好市	●
取得メダル : 金		

プログラム (太字 : 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①おはようラジオ体操 (美郷総合体育館前、美郷町中央体育館前、美郷町北ふれあい館前) 160 人
 - ・「おはようラジオ体操」は 3 地区に分かれてそれぞれの会場で行われました。メイン会場の美郷総合体育館前では、最初にオープニングセレモニーを行った後、生演奏 (アナウンス付き) で「ラジオ体操第 1・第 2」を行い、その後「手のひらを太陽に」を振り回りで歌いました。
- ②ブラウブリッツ秋田ふれあいチャレンジデー (美郷総合体育館「リリオス」) 150 人
- ③みさとチャレンジ高齢者バレーボール大会 (美郷総合体育館「リリオス」) 140 人
- ④みんなと一緒に太極拳 (美郷町武道館) 30 人
- ⑤いきいきエアロピクス (美郷総合体育館「リリオス」) 30 人

【アスリート・著名人など】

ブラウブリッツ秋田 (サッカー J3 リーグ)

協力・連携

体育協会／スポーツ推進委員／スポーツ少年団／競技団体／幼稚園・保育園／小学校／中学校／高等学校／事業所・企業／商工会・青年会議所／自治会・町内会／社会福祉協議会／高齢者施設

メディア

美郷話題新聞

広報・周知

前回までは広報車を走らせチャレンジデー参加の呼びかけをしていましたが、今回より防災無線のシステムが利用できることになりました。町民にチャレンジデーが行われることを前日にお知らせし、当日もチャレンジデー開催中であることを町内に周知できたため、参加率が前年より増加したのと思われます。

また、今年のチャレンジデーは県内全市町村が参加することになり、県主導でカウントダウンイベントや 1 ヶ月前集会、前日の決起集会など全市町村参加によるイベントが行われ、その様子がテレビや新聞等で多く報道されたためチャレンジデーの認知度が上がり、参加率増加に繋がったのと思われます。

製作物

チラシ 8,000 枚／のぼり 20 本／横断幕・懸垂幕 1 枚／スタッフポロシャツ 21 枚

実施効果

当町ではスポーツを通じて健康を育み、元気でいきいきとした町を目指し、今年 3 月に「いきいきスポーツ健康のまち宣言」をしました。そのため今回のチャレンジデーは個人の参加率も上がり、町民がスポーツをすることによって心も体も健康になる意識を持つことの一翼を担うスポーツイベントとなったものと思われます。

また、今回高齢者のスポーツ大会を開催したところ、予想以上に参加者が多く、スポーツを通じて交流を深め、楽しい大会になりました。

担当者から

今年のチャレンジデーはいろいろな事業や行事が重なり、準備段階から遅れ気味でした。しかし、それが功を奏したのか、近隣市町村が早くからのぼりや横断幕を掲げてチャレンジデーの呼びかけをしているなか、遅れて掲げたことによって、むしろイベント性が高まり、周知度が上がったことも考えられます。

また、エール交換を開催前々日に行い、チャレンジデー前日の新聞に記事が掲載されたため、翌日がチャレンジデーであることを伝える宣伝効果の高いものとなりました。

担当者として一番心配なのは当日の天候です。イベントプログラムの雨天時対策はしたもの、アウトドアスポーツを行う個人の参加率が低くなるのが懸念されたため、天候の状況が直接参加率に反映されることが担当者としての不安要素でした。



オープニングセレモニー＆おはようラジオ体操

あすチャレンジデー 28面参照

お互い健康寿命を延ばしてい
きたいですね」とエールを交
換した。

美郷町の参加は今年で3回
目。2013年の住民参加率
は44.2%、昨年は60.8%
で、いずれも対戦相手に敗れ
た。

27日は、美郷総合体育館リ
オスで行うオープニングセ
レモニーとスポーツ施設を皮切
りに、町内のスポーツ施設をほ
ろろと見学し、その後、高
齢者バレーボール大会をは
じめ、太極拳や水中運動の
教室、サッカー明治安田J3
のブラブリッツ秋田の選手
と共に行なわれるイベントを
開催。町内の体育施設も無料
開放する。

松田町長は、町が今年3月
に行った「いきいきスポーツ
健康のまち宣言」に触れなが
ら、「宣言を踏まえ、良い戦
いができればと思っている。
―実行委員会0187・8

対戦相手の三好
市の黒川市長と
電話でエール交
換する松田町長

4・4916、ファクス01
87・860・8000で受け
付ける。

(岡部千穂)

みまろ・郡司さん参加
観光宣伝大使に任命
羽後町は山都町と対戦
今回でチャレンジデー参加
4回目となる羽後町は、熊本
県山都町と対戦する。
人口は羽後町が1万685
3人で、山都町が1万652
4人。羽後町では27日、町多
目的運動広場でラジオ体操、町
総合体育館でバレーボール卓
球交流会などが開催される。
当日は、同町西馬音内出身
のプロレスラー郡司歩さん
(2011年のプロレス)が
ラジオ体操をはじめ、各種イ
ベントに参加。午後8時半ご
ろから町総合体育館で実施さ
れるファイナルイベントで
は、郡司さんを町観光宣伝大
使に任命する。

郡司さんは「できるだけ多
くの人の参加してほしい、一
緒に盛り上げたい。地元羽後
町の熱意を伝えたい」と意気
込んでいます。

(木村織音)

松田美郷町長
「良い戦いしたい」
三好市長とエール交換
27日のチャレンジデーに参
加する美郷町の松田知己町長
が25日、対戦相手の徳島県三
好市の川征一市長と電話で
健康を誓い合った。チャレン
ジデーは、自治体間で住民の
スポーツ参加率を競うイベン
ト。

人口は三好市が2万889
0人、美郷町は2万090人。
ともに日本酒乾杯杯例がある
ほか、住民の健康づくりを進
めるための条例や方針を定め
ているなど共通点も多い。

松田町長は、町が今年3月
に行った「いきいきスポーツ
健康のまち宣言」に触れなが
ら、「宣言を踏まえ、良い戦
いができればと思っている。
―実行委員会0187・8

本を元気に!

2015年5月26日 火曜日 秋田魁新報

県内全市町村みんなで運動しよう!!

ほぼ同じ人口規模の自治体同士が住民のスポーツ参加率を競う「チャレンジデー」があす27日、全国一斉に行われる。本県では今年初めて全25市町村が参加する。各地でさまざまなスポーツイベントが行われるほか、県関係オリンピックらがチャレンジデー大使として25市町村を回り、イベントに参加する。

■関連記事22、23面
チャレンジデーは、毎年5月の最終水曜日に行う住民参加型のスポーツ行事。午前0時～午後9時に15分以上運動した住民を数え、人口に占める参加率を対戦相手の市町村と競う。

今年是全国で過去最多の130市町村が参加。各地で球技やウォーキングなどのイベントが行われる。個人が各自で運動した分も、各市町村の事務局が申告を受け付ける。

本県で大使を務めるのは▷チャレンジデーを主催する笹川スポーツ財団の理事長・小野清子さん(元五輪体操代表)▷伊藤護さん(元ラグビー日本代表)▷小野喬さん(元五輪体操代表)▷長崎宏子さん(元五輪競泳代表)▷茂木優さん(元五輪レスリング代表)▷利部陽子さん(元五輪バレーボール代表)▷石垣寿美子さん(スキー距離選手)の1人。

県体育協会が大使を派遣し、参加率アップなどにつなげる。大使の訪問市町村や時間は県協ホームページで紹介している。(石塚健悟)

あす「チャレンジデー」

2015年5月26日 火曜日
秋田魁新報



“熱戦” みさとチャレンジ高齢者バレーボール大会



プロ選手(ブラウブリッツ秋田)と一緒にふれあいチャレンジデー

主催

チャレンジデー三種町実行委員会 (会長 三浦正隆)
三種町教育委員会
〒018-2104 秋田県山本郡三種町鹿渡字盤若台 75-1
三種町琴丘総合体育館内
TEL: 0185-87-2222 FAX: 0185-87-3222

結果

人口: 18,134人
参加者数: 8,268人
参加率: 45.6%
取得メダル: 銀

秋田県三種町 ○
VS
長野県飯綱町 ●

プログラム (太字: 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①ラジオ体操講習会 (青山敏彦先生とNHK体操美人でおなじみの稲垣早織さん) (三種町立八竜中学校体育館) 300人
- ②秋田ノーザンハピネッツ学校訪問 (三種町立琴丘小学校体育館) 250人
- ③みたね大学開講式 (軽体操とチャレンジデー大使の小野喬氏訪問) (山本ふるさと文化館) 200人
- ④浅利純子さんとクアオルトウォーキングを楽しもう (ことおか中央公園) 100人
 - ・今年度から町では「クアオルトウォーキング」の普及を目指し、推進室を立ち上げました。多くの町民に体験していただくため、浅利純子さんを招き、また、チラシを作成するなどして参加者を募りました。
- ⑤三種町在宅障害者スポーツ交流会 (三種町八竜体育館) 25人

【アスリート・著名人など】

浅利純子 (1996年アトランタ五輪女子マラソン日本代表) / 稲垣早織 (2008年北京五輪新体操日本代表) / 秋田ノーザンハピネッツ (バスケットボールbjリーグ)

協力・連携

体育協会/スポーツ推進委員/スポーツ少年団/競技団体/総合型地域スポーツクラブ/幼稚園・保育園/小学校/中学校/事業所・企業/商工会・青年会議所/自治会・町内会/高齢者団体/婦人会/障害者団体/社会福祉協議会/高齢者施設

メディア

秋田魁新報/北羽新聞/秋田朝日放送「AABスーパー」チャンネルあきた」

広報・周知

昨年までは、町内全小・中学生に参加賞を配っていましたが、今回はPRを兼ねてポスター図柄のクリアファイルを作成し、事前にチャレンジデー関係チラシ等を入れて配りました。

製作物

チラシ 6,800枚/スタッフTシャツ 100枚/タオル 300枚/クリ

アフファイル (ポスター図柄) 1,200枚/ラジオ体操CD (チャレンジデーロゴ入り) 250枚

実施効果

今年度から町で推奨している「クアオルトウォーキング」に大勢の町民から参加があり、普及に少なからず貢献ができて良かったです。

担当者から

当町は3回目の挑戦となりますが、チャレンジデーが徐々に浸透しつつあり、参加率も伸びてはいるものの、相変わらず地域の温度差も見られます。また、全市町村がチャレンジデーを実施している秋田県において、当町は参加率が低く、報告の回収方法の工夫と努力が更に必要だと感じました。



ラジオ体操講習会



ちびっ子フェスティバル



O B野球交流会

主 催

湯沢市チャレンジデー実行委員会 (会長 齊藤光喜)
湯沢市教育委員会 生涯学習課 スポーツ振興班
〒012-8501 秋田県湯沢市佐竹町1番1号
TEL: 0183-55-8286 FAX: 0183-72-8515

結 果

人 口: 48,890 人 秋田県湯沢市 ○
参加者数: 25,298 人 VS
参加率: 51.7% 鹿児島県南さつま市 ●
取得メダル: 金

プログラム (太字: 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①道の駅 de チャレンジ (道の駅おがち小町の郷) 430 人
- ②ラジオ体操 (オープニングセレモニー) (弁天地区センター) 178 人
- ③ラジオ体操 (オープニングセレモニー) (幡野地区センター) 104 人
 - ・早朝6時からという湯沢市内で一番早い時間のオープニングセレモニーとして企画されたものであり、地域の協力団体が主導して開催しました。湯沢市内では、旧市町村単位 (4 地域) でオープニングセレモニーを企画し、地域住民と一体となって取り組みました。
- ④健康ストレッチ体操 (オープニングセレモニー) (湯沢市稲川農村環境改善センター) 100 人
- ⑤気分爽快ストレッチ体操 (オープニングセレモニー) (雄勝文化会館) 79 人

協力・連携

体育協会/スポーツ推進委員/競技団体/総合型地域スポーツクラブ/幼稚園・保育園/小学校/中学校/高等学校/事業所・企業/商工会・青年会議所/自治会・町内会/高齢者団体/婦人会/障害者団体/社会福祉協議会/高齢者施設/障害者施設

メディア

秋田魁新報/ FM ゆーとぴあ「Tockeyの青春ラヂオ生放送 おしゃべりミュージックBOX」

広報・周知

湯沢市としては、初の試みである特産品の抽選を企画しました。特産品は、対戦相手である南さつま市と物産の交流として、お互いに同じ数の特産品を贈り合いました。また、参加報告もできるだけ報告しやすいよう様式を変更し、この企画を載せた折り込みチラシを全戸配布し、住民の参加意欲の向上を図りました。また、商工会議所の協力もあり、会報などでチャレンジデーのPRをしていただき、企業や店舗などへの広報もスムーズに進めることができました。さらに、地域ごとでチラシを作成するなど、事前の周知に力を注ぎました。

製作物

チラシ 38,000 枚/スタッフTシャツ 410 枚/ポケットティッシュ 3,000 個/のぼり 230 本/クリアファイル 500 枚

実施効果

より報告しやすい体制づくりと、地域ごとの取り組みのおかげで3回目の挑戦で念願の金メダルを獲得することができました。

また、少しずつですが、チャレンジデーが認知されてきているようで、事前の問い合わせもありました。チャレンジデーの取り組みで、地域住民が一体となることができました。

担当者から

チャレンジデー自体はそれなりに浸透してきている反面、まったく知らないという人もまだまだいるので、どうしたら興味をもってもらえるか、周知方法を工夫することが必要だと感じました。また、参加報告しやすい体制作りと、誰もが気軽に参加できる魅力あるプログラムの実施が重要であると考えます。参加報告の方法については、自治体ごとにかなり差もあり、湯沢市としての参加報告書の作成がなかなかうまく進みませんでした。

来年も引き続き金メダルを獲得できるよう周知の徹底とプログラム構成を準備したいと思います。

湯沢市ではチャレンジデーをスポーツ振興の重要施策と位置付け、市民の健康増進と、スポーツをすることの楽しさ、素晴らしさを伝えていくために実施していきます。



ラジオ体操で元気にスタート



道の駅で多くの人が参加

チャレンジデー2015 YUZAWA

念願の**金**メダル!

参加率 **51.7%**
「鹿児島県南さつま市」に勝利!

チャレンジデーとは?

人口原率がほぼ同じ自治体同士が、午前0時から午後9時までの間に、健康を意識して15分以上継続してスポーツや運動をした住民の参加率を競うスポーツイベント。参加率によってメダルが授与され、湯沢市の場合、50%以上が金メダルとなります。

種別地区センターオープニングセレモニー



●雄勝地域

- 4 風景を楽しみながらノルディックウォーキング
- 5 雄勝文化会館でのオープニングセレモニー

●皆瀬地域

- 1 キンボールではたくさん体を動かしました
- 2 オープニングセレモニーで元気いっぱいの子どもたち
- 3 プラスチック製のストーンを滑らせて競うユニカール



- 湯沢地域
- 6 エアロビクスでいい汗を流しました
- 7 みんな笑顔でフラダンス



●稲川地域

- 8 オープニングセレモニーにチャレンジデー大使の茂木家さん(元五輪レスリング選手)訪問
- 9 8人制バレーボール大会では熱戦が繰り広げられました
- 10 勝さないよう慎重に!虫積み競争

11

10

2015年6月15日号 広報ゆざわ



夢中になって空き缶を積み上げる児童

湯沢市では、児童らがチャレ二つ一つ空き缶を積み上げチャレンジ共通種目の「空きた。川連小6年の猪股晴君は「積み上げ」を楽しんだ。同「手が震えたりと高く積めて市川連町の稲川農村環境改善よかった」と満足した様子でセンターでは、観客も息をのんだ。見守る中、児童が集中中。

2015年5月28日 木曜日
秋田魁新報

みんなで目指せ金メダル

チャレンジデー2015

全国で5月27日に開催するチャレンジデーに、今年も湯沢市が参加します。市民の皆さんはもちろん、市外にお住まいの方もこの日は市内でチャレンジデーに参加しましょう。

当日のイベントなどは、5月15日号の折り込みチラシをご覧ください。皆様のご参加をお待ちしています。

- と き 5月27日(水)午前0時から午後9時まで
- 対象者 この時間内に市内にいる人
- 参加方法 市内で、15分以上継続して運動すること(ウォーキング、サイクリング、歩きながらの買い物など体を動かすことならなんでもOK)
- 参加報告 湯沢市役所、総合体育館、各生涯学習センターなどに置いてある報告用紙を電話(FAX)または直接会場にて報告いただいてもOKです
- 募集 ボランティアスタッフを募集しております。興味のある人は問い合わせください
- 問い合わせ 湯沢市チャレンジデー実行委員会(生涯学習課スポーツ振興班)へ

2015年5月1日号 広報ゆざわ



体を伸ばして健康ストレッチ

主催

由利本荘市チャレンジデー実行委員会（会長 長谷部 誠）
由利本荘市教育委員会 スポーツ課
〒018-0692 秋田県由利本荘市西目町沼田字弁天町 40-61
TEL：0184-32-1334 FAX：0184-33-2202

結果

人口：81,866人
参加者数：66,702人
参加率：81.5%
取得メダル：金

秋田県由利本荘市 ○
VS
香川県丸亀市 ●

プログラム（太字：特に力を入れているプログラムと内容）

- ①総合開会式・チャレンジデーウォーク（カダーレ）549人
・チャレンジデー総合開会式とチャレンジデーウォーク。チャレンジデー大使の長崎宏子さんも激励に来られました。
- ②あったかハート てくてくふれあい チャレンジウォーク（岩城小学校・赤平町内）316人
- ③色別対抗綱引き（東由利小学校）133人
- ④矢島保育園児と遊ぼう（日新館）130人
- ⑤ブラウブリッツ秋田サッカー教室（由利緑地公園）70人

【アスリート・著名人など】

ブラウブリッツ秋田（サッカー J3 リーグ）

協力・連携

体育協会／スポーツ推進委員／スポーツ少年団／競技団体／総合型地域スポーツクラブ／幼稚園・保育園／小学校／中学校／高等学校／大学・専門学校／事業所・企業／商工会・青年会議所／自治会・町内会／高齢者団体／婦人会／障害者団体／社会福祉協議会／病院・診療所／高齢者施設／障害者施設

メディア

秋田魁新報／由利本荘市ケーブルテレビ「情報ランド」

広報・周知

5月1日号広報と一緒に全戸配布のチラシを配りました。両市長エール交換が地元新聞で取り上げられ好評でした。

製作物

チラシ 30,000枚／ポケットティッシュ 6,000個／のぼり 140本
／PR看板 3枚／Tシャツポロシャツ等 182枚

実施効果

3回目の実施となりましたが、チャレンジデーが昨年より浸透してきていると感じました。

また、今回は町内会と行政が一体となって取り組み、参加率が大幅にアップした地域や支所もあり、市全体としても昨年より参加率が大幅にアップしました。

来年は都市部の参加率アップを重点目標として、さらに市民の健康づくり、地域づくりの意識を高めるよう取り組みたいと思います。



ウォーキング



矢島保育園児と遊ぼう



ブラウブリッツ秋田サッカー教室

主催

横手市チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 高橋 大)
横手市まちづくり推進部スポーツ振興課
〒013-0060 秋田県横手市条里二丁目2-50
横手就業改善センター内
TEL: 0182-35-2173 FAX: 0182-32-6120

結果

人口: 95,800人	秋田県横手市	○
参加者数: 83,268人	VS	
参加率: 86.9%	福岡県大牟田市	●
取得メダル: 金		

プログラム (太字: 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①市内スーパーマーケット買い物ウォーキング (市内各スーパーマーケット) 14,548人
- ②市内事業所によるラジオ体操とクリーンアップ (市内各事業所周辺) 11,798人
 - ・市内各事業所による合同のラジオ体操とクリーンアップに力を入れています。普段、運動やスポーツに遠ざかっている方々に運動やスポーツを通じて健康に対する意識を高めるきっかけづくりを提供するとともに、なかなか交流のない近隣の事業所と合同で開催することによりお互いの親睦を深めます。また、さまざまな情報を収集でき、地域の活性化に一役かっていると各事業所には大変喜ばれております。
- ③市内小中学校による業間運動 (市内各小中学校) 6,532人

【アスリート・著名人など】

高橋勇市 (2004年アテネパラリンピック マラソン金メダル)

協力・連携

体育協会/スポーツ推進委員/スポーツ少年団/総合型地域スポーツクラブ/民間フィットネスクラブ/幼稚園・保育園/小学校/中学校/高等学校/大学・専門学校/事業所・企業/商工会・青年会議所/自治会・町内会/社会福祉協議会/病院・診療所

メディア

横手コミュニティFM「よこてタウンメッセージ」

広報・周知

- ・チャレンジデーの1ヵ月前にチラシを全戸配布し、市民にチャレンジデーの趣旨を理解してもらいました。さらにチャレンジデー1週間前に報告書付きのチラシをもう一度全戸配布して、市民の参加の関心意欲を高めました。
- ・市内事業所・各種団体においては、4月に総会が開催されるため、スタッフで手分けをし、多数の団体の総会を訪問して、チャレンジデーの趣旨を説明して参加を依頼しました。
- ・地元コミュニティFMで毎日のようにPR放送を流しました。

製作物

チラシ70,000枚/スタッフTシャツ300枚/ポケットティッシュ10,000個/のぼり50本/タオル700枚/横断幕・懸垂幕4枚

実施効果

チャレンジデーを通して市民の健康づくりや、体を動かすきっかけを提供することができました。またスポーツを通じて地域間交流を図ることができ、横手市は人と人とのつながりが強く残っている地域であることを再確認することができました。スポーツを通じて元気なまちづくりを市民一体となって取り組みました。

担当者から

昨年のチャレンジデーでは残念ながら敗戦しました。敗れて改めて感じたのは、横手市民はチャレンジデーだから特別な取り組みをするのではなく、平日頃から健康を意識し体を動かしてスポーツに親しんでおり、地域の中で繋がり合おうとする気持ちを持っている方が本当に多いということでした。また、そういった市民をうまく取り込めなかった当実行委員会に敗因があったと感じました。

敗戦したことで当実行委員会も新たな気持ちで色々な関係団体を回り、チャレンジデーの趣旨を説明し賛同を得て、また昨年から繋がりのある団体には引き続き輪を大切にしながら今年のチャレンジデー当日を迎えました。今年で市町村合併して10年になりますがチャレンジデー当日は、横手市内はすごい盛り上がりで、初めてというくらい市民が一つになったように感じました。

今回、市民が運動やスポーツを通じて健康に対する意識を高めると同時に、市民一人一人が繋がり、地域が繋がり合うきっかけづくりとしてチャレンジデーがあったと感じています。



横手市グラウンド・ゴルフ交流大会

主催

鶴岡市チャレンジデー実行委員会 (委員長 榎本政規)
 鶴岡市教育委員会 スポーツ課
 〒 997-0825 山形県鶴岡市小真木原町2番1号
 小真木原総合体育館内
 TEL : 0235-25-8131 FAX : 0235-25-8134

結果

人口 : 133,005 人 山形県鶴岡市 ○
 参加者数 : 75,865 人 VS
 参加率 : 57.0% 神奈川県伊勢原市 ●
 取得メダル : 金

プログラム (太字 : 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①お買いものウォーキング (市内各所) 35,055 人
- ②スポーツ無料体験教室 (市内各所) 756 人
 - ・市内の各総合型地域スポーツクラブの協力を得て、20のスポーツ教室等の無料体験を実施しました。このプログラムは、運動することへの動機づけとなることはもとより、総合型地域スポーツクラブへの加入を促進することによって、チャレンジデー当日以降、運動習慣の定着を期待するものです。
- ③オープニング (ラジオ体操&クリーンアップウォーキング) (市内6カ所) 663 人
- ④チャレンジ大なわとび (市内各所) 340 人

協力・連携

体育協会/スポーツ推進委員/スポーツ少年団/競技団体/レクリエーション協会/総合型地域スポーツクラブ/民間フィットネスクラブ/幼稚園・保育園/小学校/中学校/高等学校/大学・専門学校/事業所・企業/商工会・青年会議所/自治会・町内会/高齢者団体/婦人会/障害者団体/社会福祉協議会/病院・診療所/高齢者施設/障害者施設

メディア

荘内日報/山形新聞

広報・周知

市広報や Facebook、地元マスメディアを活用した広報活動はもとより、企業・各種団体等への訪問による周知を図りました。さらにチャレンジデーへの参加意識を全市域に広げるため、町内会・住民会等の全自治会に対して参加協力を依頼するなど、住民に身近なイベントとして認識されるよう地道な周知活動を行いました。これによって、比較的規模の小さな集落の参加もあり、参加率全体の底上げにつながりました。今回の町内会・自治会関係の参加者数は前年比 14.3%の増となりました。

製作物

チラシ 30,000 枚/スタッフTシャツ 400 枚/ポケットティッシュ 2,000 個/のぼり 30 本/タオル 500 枚/日帰り温泉割引券

80,000 枚/加茂水族館割引券 40,000 枚

実施効果

- ・普段あまり運動をしない方が運動に取り組むきっかけとなりました。
- ・自治会などで取り組むことによって、スポーツを通じた地域コミュニティの交流が図られました。
- ・幼児から高齢者まで幅広い世代が楽しみながら運動をすることによって、市民の体力づくりにつながりました。
- ・運動を意識することによって、日常生活の動きも健康づくりにつながることを啓発できました。
- ・鶴岡市の魅力を PR することができました。

担当者から

チャレンジデーは、普段運動をする機会のない方が、体を動かすきっかけとなります。このイベントを機に、市民の皆さんが日常的に運動に親しみ、健康でいきいきとした生活を送ることによって、更に明るく元気なまちになることを願って取り組んでいます。今後も、チャレンジデーをきっかけとした運動習慣の定着化に向けた仕組みを更に検討し、本市スポーツ推進計画の基本目標「生命いきいきスポーツのまち鶴岡の創造」を目指して取り組んでいきます。



オープニングイベント ウォーキング



第3回チャレンジゲートボール大会 (鶴岡市ゲートボール協会)

主催

伊達市チャレンジデー実行委員会（実行委員長 仁志田昇司）
伊達市スポーツ振興公社
〒960-0634 福島県伊達市保原町大泉字宮脇 265 番地
TEL：024-597-8015 FAX：024-597-8016

結果

人口：63,682人	福島県伊達市	○
参加者数：32,393人	VS	
参加率：50.9%	沖縄県豊見城市	●
取得メダル：金		

プログラム（太字：特に力を入れているプログラムと内容）

- ①買い物ウォーキング（市内スーパー、商店等）12,952人
 - ・事前に店舗にチャレンジデーの協力を承諾していただき、報告ボックスとのぼりの設置をしました。チャレンジデーの数日前に報告書を持参し、締め切りの時間と報告方法の確認をしました。また当日の夕方、ボランティアの方々がチャレンジデー協力の呼びかけをしました。
- ②市長といっしょにマラソンとストレッチ体操（伊達市立保原小学校）858人
- ③ファイナルイベント（保原総合公園）300人
- ④ニューススポーツ体験コーナー（保原体育館）300人

協力・連携

体育協会／スポーツ推進委員／レクリエーション協会／幼稚園・保育園／小学校／中学校／事業所・企業／商工会・青年会議所／自治会・町内会／婦人会／社会福祉協議会／病院・診療所

メディア

福島民友／福島民報／KFB 福島放送「スーパー」チャンネル／伊達市ケーブルテレビ

広報・周知

新年度の行政推進員・体協・婦人会の総会時に趣旨の説明活動を行い、市民に周知を図りました。その活動のひとつでイベントの企画用として自治会用・企業用・個人用のメニュー表を作り、報告しやすいようにしました。報告書つきのチラシを実施日の2週間前に全戸配布したことにより、個人の参加報告が昨年比で500人程度増えました。報告の便宜を図るために、報告ボックスの数を昨年より増やして各総合支所や地区交流館だけでなく、商店、金融機関のカウンターをはじめ報告しやすい場所にのぼりとともに設置しました。また終日、広報車等で参加報告の呼びかけを行い、多くの方に参加をいただきました。

製作物

チラシ 30,000 枚／ポケットティッシュ 10,000 個

実施効果

ニュースポーツを多くの方に紹介することができました。自主的に運動をして報告する方が増え、個人やグループ単位で健康増進への意識が高まっていることが実感できました。伊達市が独自に行っている「健幸ポイント」に加点されたので相乗効果につながりました。

チャレンジデーを通して町内会単位、グループ単位でイベントが実施され、地域コミュニケーションの推進を図ることができました。

担当者から

チャレンジデー当日は素晴らしい天候に恵まれ、多くの市民の参加があり、目標としていた参加率 50% をクリアすることができました。三回目の挑戦で悲願の初勝利をあげることができました。

多くの自治会や事業所の参加があり、それぞれの地区のまとまりが再確認できるイベントとなりました。

今後は、誰もが参加できる市民の健康づくり・体力づくりにつなげていくスポーツイベントとして浸透するように、周知方法や報告方法などを検討していきたいと思います。さらに合併前の旧 5 町ごとの集計ができるように実施報告用紙を工夫したいと思います。

これからもチャレンジデーに限らず日頃から健康への増進活動を図っていきようにしたいです。



オープニングイベント IN 保原小



園児もウォーキング

伊達市が豊見城市(沖縄)破る



ハーフマラソンの距離を走るリレーで汗を流す参加者。伊達市

自治体間でスポーツに 今年、豊見城市(沖縄県)と対戦。両市は午 前0時から午後9時まで 競う「チャレンジデー2 015」は27日、全国各地の 間で開かれた。本県は伊 達市が参加し、多くの住 民たちが運動でさわやか な春を流した。伊達市は 健康増進を目的に、毎 年開催。15分以上継続 して運動することが条件 自治体間で参加率を競っ 加。同市は3年連続の参

チャレンジデーに3万人超

2015年5月28日 木曜日 福島民報新聞



音楽に合わせて踊る子どもたち



児童たちとランニングする 仁志田市長

伊達市民楽しく運動

3度目の挑戦で勝利

スポーツ振興を目的に伊 達市で27日に行われた「チ ャレンジデー2015」では、 同市内各地で住民たち が楽しく体を動かした。 保原小でオープニングイ ベントが開かれた。仁志田 昇司市長がチャレンジデー 宣言を行った後、児童たち がランニングで汗を流し た。 同市保原町の認定こ

チャレンジデー参戦

も園大田では、園児や大 田小の児童らが参加。3 人組音楽ユニット「MINI GLE(ミングル)」の演 奏に合わせて楽しく踊っ た。 このほか「清掃大会」や 「買い物ウォーク」などの ユニークな取り組みも展開 された。保原総合公園では ファイナルイベントを行 い、タグラグビーなどを行

2015年5月29日 木曜日 福島民報新聞



ファイナルイベント開幕

▽人口規 模が同程度の 自治体や地域 同士で、15分 間以上継続して運動やスポ ーツに取り組んだ住民の参 加率を競う「チャレンジデー 2015」が27日に開か れるのを前に、参加する伊 達市の仁志田昇司市長は18 日、対戦相手の沖縄県豊見 城市の宣保晴毅市長とテ レビ電話を通じてエールを 交換し、互いの健闘を誓っ た。写真。

▽仁志田市長は市が推 進する「健康都市」の取り 組みを紹介し、「(市民に) これを機会にスポーツに関 心を持ってもらえれば」と 話し、宣保市長は「いろい ろな会合で市民に参加を呼 び掛けている。参加目標は 30%」と応じた。



2015年5月19日 火曜日 福島民報新聞

主 催

行方市チャレンジデー実行委員会 (委員長 鈴木周也)
行方市教育委員会 スポーツ振興課
〒311-1704 茨城県行方市山田 2175
TEL: 0291-35-2120 FAX: 0291-35-3854

結 果

人 口: 37,236 人
参加者数: 18,733 人
参加率: 50.3%
取得メダル: 金

茨城県行方市 ○
VS
富山県魚津市 ●

プログラム (太字: 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①市内小中学校ロープ・ジャンプ・X (市内各学校) 2,576 人
・学校との協力関係が築けているため、行方市内小中学校で全校をあげての取り組みを依頼しています。低学年については練習ということで記録をとっていませんが、実施日には学校へ保護者の応援が来るところもあるほど盛り上がりました。ロープ・ジャンプ・X は、後日、子ども会行事でも行われるなど地域に浸透してきています。
- ②市内幼稚園・子ども園・高等学校等チャレンジデー活動 (市内各園・高等学校等) 1,110 人
- ③グラウンド・ゴルフ大会 (高須崎公園) 336 人
- ④オープニングセレモニー及び各庁舎ラジオ体操 (各庁舎) 334 人
- ⑤ポスチュアウォーキング、太極拳、バランスボール、ニュースポーツ体験 (北浦運動場体育館) 152 人

協力・連携

体育協会/スポーツ推進委員/スポーツ少年団/競技団体/総合型地域スポーツクラブ/幼稚園・保育園/小学校/中学校/高等学校/事業所・企業/商工会・青年会議所/高齢者団体/婦人会/社会福祉協議会/高齢者施設/障害者施設

メディア

茨城新聞/フューチャーリンクネットワーク「なめがた日和」

広報・周知

市内事業所へ例年以上の参加依頼活動をしたことで事業目的に賛同して参加してくれる事業所が多くなりました。市のホームページやメールマガジンの URL から事前申込をできるようにしたことでより時代にあった申し込みの形を新たに作りました。

製作物

チラシ 25,500 枚/ポケットティッシュ 3,000 個/トイレトパーログシール付 2,000 個/スタッフジャンパー 20 枚

実施効果

チャレンジデーを実施したことで市民に対して運動の習慣化の必要性を考えることや運動のきっかけづくりの場を提供できたと思

います。これは働き方やライフスタイルの変化に伴い、運動との関わりが希薄になっている方が増えている時代のニーズに合っていると考えられます。また、各種団体に参加いただけたことで地域コミュニティづくりの一翼を担えたと思っております。

担当者から

市民へチャレンジデーの内容を PR し、事業を開催しています。参加者はそれぞれの活動を実施し、この形は理想的と思えますが、それぞれの活動が実際には見えてこないため、事業の成功を実感することが難しいと思えます。数字以外の部分で運動の習慣化やきっかけ作りになったと感じ取ることができるならば、今まで以上に素晴らしい事業だと思います。



保育園でのプログラム



オープニングセレモニー



庁舎前ラジオ体操